



# 袖ヶ浦市

# ファミサポ通信 Vol.44

ファミサポイメージキャラクター  
あい  
愛サポちゃん

利用会員	181名
提供会員	40名
両方会員	12名
合計	233名

（7月1日現在）

発行：袖ヶ浦市役所子育て支援課 / 編集：ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターとは、子育ての手助けを頼みたい方と、子育ての手助けができる方が会員となって組織をつくり、一時的な子育てを助け合う有償の相互援助活動です。

今年は梅雨明けも早く、暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。西日本では豪雨や地震などの大きな災害もありました。天災はいつ身に降りかかるかわかりません。夏休みの間に避難場所の確認をしたり、非常用持ち出し袋の点検や、ご家族内での災害時のルールについても話し合ってみてはいかがでしょうか。

5月31日（火）主催講座  
「子育てを楽しむために」



6月20日（水）子育て学習会  
「交通安全教室・チャイルドシート講習会」



皆様のご参加、ありがとうございました。  
これからの育児や生活に、お役立っていただくと幸いです。  
アドバイザー 一同

**★ 今後の予定 ★**

8月9日（木）子育て学習会「乳幼児救命講習」

9月11日（火）ファミサポ説明会

9月20日（木）主催講座「おりがみ教室」



## 第1回 ファミサポ主催講座 「子育てを楽しむために」報告

H30年5月31日(木) 10時~12時  
保健センター 6名参加(両方会員1名、会員外5名)



大切なのは  
「子どもへの関わり」  
と「自分の感情のコントロール」  
これだけ!



講師：阿部 勝広 氏  
(社会福祉士・精神保健福祉士)

講座ではDVDの教材や映画「インサイド・ヘッド」を見ながら、楽しく子育てをするためには何が大切か?を学びました。大切な大前提は2つ。1つ目は親御さんのセルフケア(五感を使うこと。例えばアロマで好きな香りを楽しむ。香りでハッとするとイライラがリセットされる。肌触りの良いものを触ってみる。好きな音楽を聞きながらコーヒーを飲んだり甘いものを食べるなど。)セルフケアとは自分の感情をコントロールすること。2つ目は子どもとの関わり方。年齢による発達の違いを理解して楽しみながら関わること。その他「しつけ」についてのお話もありました。「たたくこと」は簡単で効果的だが、それは子どものためではなく親のストレス解消でしかない。親のストレスを無くすためには親自身のセルフケアが必要です。

皆さんは、自分のために過ごす時間はありますか?好きなことを何かやってみませんか…?

### 〈参加者の声〉

☆子育ての色々な話はよく聞くけどすごくわかりやすかったし、丁度今の時期にピンポイントな内容だったので、来られて良かったです。☆子育てを楽しめていない時が多かったが、その理由が自分で切り替える、替えれば楽しめるという事がわかり良かった。☆子どもとの接し方等再確認しました。☆セルフケアについて真面目に考えます。☆自分自身のセルフケアが大切だということ、すごく納得できました。子どももだんだんと自己主張できるようになり、自分に余裕がない時はついイライラしてしまいます。同じような状況でも自分に余裕があれば、子どもに対する接し方も変わってくると思います。自分自身が楽しめることプラスでいられることを見つけて実践したいと思いました。

## 第2回 ファミサポ主催講座 案内 「おりがみ教室」

小さい子どもから大人まで、みんなが楽しめるおりがみ教室を開催します!ご家族やお友達を誘って遊びに来てください!!

日時：平成30年9月20日(木) 10:00~12:00

場所：市民会館 2階研修室

講師：小野原 勝男 先生(国際折り紙レタークラブ代表としてグローバルに活躍中!!)

対象：市内にお住まいの方

定員：20名

\*おりがみができるお子さんは一緒に参加出来ます♪

参加費：無料

\*保育が必要なお子さんをご相談ください。

申込〆切：9月14日(金)16時

申し込み：ファミリーサポートセンター TEL・FAX (64) 3115



## 第1回 子育て学習会

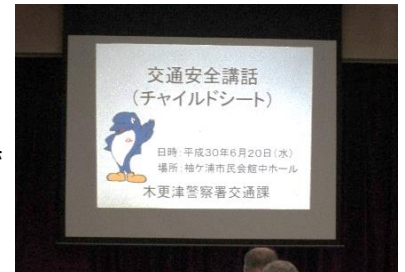
H30年6月20日(水) 10時~12時 袖ヶ浦市民会館  
21名参加(提供会員6名、両方会員5名、会員外10名)

### 「交通安全教室・チャイルドシート講習会」 報告

市民活動支援課との合同開催で、交通安全教室を開催しました。送迎を伴う援助活動を安全・安心して行えるよう、木更津警察署と袖ヶ浦自動車教習所の職員による講義を受けました。

～聞いた話を忘れないために、ご家族に話すなど目的を持って復習しましょう～

- 危険予知トレーニング(KYT)をしましょう。「だろう運転」を排除して「かもしれない運転」を心掛けましょう。ヒヤリとした体験は、大事故に繋がります。「事故にならずにラッキー」と思わず、分析しましょう。
- 全席シートベルトをしましょう(道交法7条の3)。身長135cm位まではチャイルドシートを使用した方が良い。正しい装着をしないと被害者側の過失になる場合がある。
- 保育所への送迎や買い物など、近距離移動での事故が多い。どんなに近い場所でもチャイルドシートを着用しましょう。
- 国の安全基準を満たさないシートが通販などで出回っている。それらは事故の衝撃に耐えられるようなものではない。大切なお子様を守るために、国土交通省の安全基準適合マークがついているものを使用しましょう。
- チャイルドシートは、お子様の体格に合ったものを使用しましょう。
- 設置したチャイルドシートにゆるみがないか、定期的に確認しましょう。



袖ヶ浦自動車教習所  
伊藤 由夫 氏



#### <参加者の声>

- ☆「ちょっとそこまで」と思わず、チャイルドシートをしなければ発進しないという事を実行していきたい。
- ☆千葉県は交通事故死が全国ワースト2位。ファミサポの送迎援助時も十分気をつけようと思った。
- ☆低速でも急ブレーキをかけると車外に投げ出される映像をみて、送迎援助時のランドセル置き場など、更に注意したいと思った。
- ☆子どもが大きくなったこともあり、久しぶりにチャイルドシートという言葉に触れました。改めてその重要性、着用しない危険性がとても勉強になりました。 \*次回の交通安全教室は2年後に開催します。

## 第2回 子育て学習会 案内 「乳幼児救命講習」

講義の他に、ケガの応急処置・心肺蘇生・AED使用方法などを教えていただく予定です。提供・両方会員の方は必須研修ですので、ご都合をつけて参加してください。市内にお住まいの子育て中の方や、保育に関心のある方もぜひご参加ください。

\*実習を行いますので、動きやすい服装でお越しください。

日時:平成30年8月9日(木) 10:00~12:00

場所:袖ヶ浦市役所 保健センター 母子保健室

講師:消防署職員 対象:市内にお住まいの方

定員:20名 申込〆切:8月3日(金)16時

保育:定員5名 保育〆切:7月31日(火)16時

申し込み:ファミリーサポートセンター TEL・FAX(64)3115





# ファミサポからのお知らせ

～袖ヶ浦市ファミリーサポートセンターの地震災害時対応について～

東日本大震災や熊本地震、また記憶に新しいところでは、先月6/18(月)震度6弱を記録する大阪府北部地震が起きました。いつ起こるかわからない地震災害に備えるために、袖ヶ浦市ファミリーサポートセンターでは平成27年5月に地震災害時の対応についてルールを決めています。入会時に配布していますが、この度わかりやすくまとめた文書を作成しましたので、今回の通信に同封して配布しています。ご確認の上、不明点などありましたらファミサポまでお問い合わせください。

## もしも、援助活動前に地震災害が起きたら・・・

- \*原則として援助活動は中止になります。提供会員はご自身の安全確保(避難)をして、落ち着いたら会員同士及びファミサポに連絡をします。
- \*子どもが保育所等の施設にいる場合は施設の指示により避難(待機)となるため、施設には原則として利用会員の迎えになります。

## もしも、援助活動中に地震災害が起きたら・・・



### ①提供会員が送迎中の時

\*提供会員ご自身と子どもの安全確保(避難)に全力を尽くし、落ち着いたら会員同士及びファミサポに連絡。子どもを保育所等の施設から送迎している時は、送迎先までの距離等の状況によりますが、可能な限り施設に戻ります。⇒※施設により対応が違います。現在援助中の会員へは、順次アドバイザーから連絡しています。

### ②提供会員が自宅などでの預かり援助中の時

\*提供会員ご自身と子どもの安全確保(避難)に全力を尽くし、落ち着いたら会員同士及びファミサポに連絡。利用会員が迎えに来るまで預かります。

※会員同士が連絡を取り合う努力をしましょう。

※利用会員は、災害時の子どもの引き取りルールについて、家族内でも確認しておきましょう。

## <ファミサポ説明会のご案内>

日時：平成30年9月11日(火)

午前の部 10時30分～12時 午後の部 1時30分～3時

場所：そでがうらこども館 多目的室

持ち物：市内在住(在勤)が確認できるもの(免許証など)

申込期限：平成30年9月10日(月)16時

申し込み：ファミリーサポートセンター 電話・FAX(64)3115



\*入会説明は随時行っていますので、興味のある方はお問い合わせください。

### ＝編集後記＝

自分のセルフケアって何だろう?と考えてみました。私は毎朝、沸かしたてのお湯で入れる「ほうじ茶」でしょうか。産地などにもこだわった、お気に入りの味と香り。温かいお茶を一杯いただくことで、ほっとして新しい一日が始まります。(E.M)

### (問い合わせ)

袖ヶ浦市ファミリーサポートセンター  
〒299-0257 袖ヶ浦市神納1136-3

(そでがうらこども館内)  
電話・FAX 64-3115

開所時間：午前9時～午後5時  
(日曜日・祝祭日・年末年始 休所)

☆ファミサポからののお知らせは、広報そでがうら、子育てポータルサイト「はっぴーねっと」にも掲載しています☆